

令和二年度使用小学校教科用図書 調査研究報告用紙

種目	算数
----	----

※発行者番号の小さい順に記入

発行者番号・略称 書 名	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「新しい算数+」では2種類の難易度を変えた問題を設定し、児童の実態や学習状況に合わせて問題を扱うことができるよう配慮されている。 ・単元途中や単元末に、適宜「今日の深い学び」と「マイノート」をあわせて提示することで、児童の思考力や表現力の高まりを図ろうとしている。 ・単元の導入は、日常生活や既習場面を題材に取り上げ、児童の興味・関心を喚起しながら単元の学習課題へと繋げようとする配慮が見られる。 ・「いかしてみよう」「おもしろ問題にチャレンジ」で学んだことを実生活に生かすことが出来るよう配慮されている。 ・現代的な諸課題を題材に、多様な情報を関連づけて読み解き判断する統計資料が掲載されている。また、縮尺や気温などを扱うなど他教科との関連も図られている。 ・4年以降、文章題をもとに数直線図を書く力の定着を図り、それをもとに立式できるよう配慮されている。 ・1年を2分冊に分け、①では拡大版とし、ノート作りの素地形成やブロック操作がしやすいよう、入学段階時の学習への配慮がされている。
4 大日本	<ul style="list-style-type: none"> ・「おうち算数」「なるほど算数教室」で学んだことを生活に生かすよう促し、算数への興味・関心を広げるよう配慮されている。 ・キーワードが太字で示されており、見やすい。 ・「前学年までのまとめ」が分かりやすく、そのままが学習掲示にも使うことができる。
11 学図	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がつまづきやすい「割合」や「比」の学習では、5年から一貫して「4マス関係表」を用い、基礎基本の定着につなげている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・「ステップアップ算数」では、きほん問題・ジャンプ問題の2段階に分けて問題設定がされており、個々の児童の興味・関心や習熟度に応じて活用できるように配慮されている。

61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・折り込みページを入れ、他のページと関連させながら学習が進められるようになっている。 ・「練習」「たしかめよう」「復習」を適宜設け、繰り返し問を解かせることで基礎基本の定着につなげようという配慮が見られる。 ・巻末の「切り取り教具」は、子供が楽しみながら活用できる。 ・「じゅんぴ」「もっと練習」で、自学自習が出来るように配慮されている。 ・導入で算数的活動を取り入れ、学習への興味・関心を喚起するよう配慮されている。 ・行間や余白が広く、読みやすい。また、グラフの学習では、児童が書き込みやすいようにマス目を大きくしている。
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちがえやすい問題」を設定することで、児童のつまずきに対応できるよう配慮されている。 ・巻末の「学び方ガイド」は、問題解決の4ステップが示されており、切り取っていつでも手元に置いて学習を進めることができる。 ・「ハロー算数」で、算数の学びを実生活につなげ、算数の楽しさや意義を実感できるように配慮している。